

* チーム名 *

チーム「ビッグT岡」

ひらけ!豊岡の未来、外国人とつくる村おこし

私たちの未来への提言!!



コンセプト

既存の地域の宝を活用し、外国人と交流の機会をつくり、お互いの 理解を深めることで、多文化が共 生した社会(国際都市)を実現する



豊岡の宝

お菓子



田道間守の話



田道間守の神話

垂仁天皇の勅命を受けた田道間守が ときじくのかぐのこのみ 非時香木実(橘)を常世の国から

持ち帰ったという話

橘⇒ミカン

お菓子などほぼない時代に橘はお菓子の

最上級品とされ菓祖として崇敬されていている。



お菓子のルーツは インターナショナルなものであったので、 お菓子から始まる豊岡の国際化・活性化に ついて考える



お菓子祭りに世界のお菓子を取り入れ

国際色豊かな祭りに

「豊岡=お菓子の聖地」

という認識を国内だけでなく世界へ





それをきっかけに豊岡を

「世界のお菓子の聖地」に!!



まちが抱える問題

商店街の衰退

大開通り



お菓子祭り前日祭を国際色あるものにする

お菓子祭り前日祭 ~ 豊お菓子インターナショナル ~



- 豊岡在住の外国人の方に、出身国のお菓子の ブースを出してもらう。
- ・豊岡在住の外国人にも委員会に入っていただき、 違う視点からの意見も入れながら祭りを作る。
- ・出店していただく外国人の方に、豊岡がなぜ菓子祭りを行っているかを説明し、理解を深めていただく。



その結果どうなる?

・様々な国のお菓子が集まる祭りとして、発信力が強まる。



















そうすれば豊岡市はどうなる?

・海外のお菓子業者がお菓子祭りに集まる。





その結果どうなる?

既存のイベントをきっかけとして、豊岡在住の外国人の方と共に

事業を行うことで、お互いの理解やコミュニケーションが深まる。



例えばどんなこと??

お菓子を活かした大開通りの活用



・閉店している店が多くシャッター通りとなっており、寂れている雰囲気なので、その雰囲気を払拭したい。



・シャッターに田道間守命、橘やお菓子の絵を描き、 お菓子の街であることを視覚的に発信する環境に する。









お菓子特区という形で、空き店舗にお菓子屋やお菓子を扱ったカフェの出店を助成、開発を行う。

- ・都市圏・海外からの出店に対して、家賃の助成
- ・国際お菓子通りになるように、一か国ごとの専門店を出店してもらう



大開通りの中心にある豊岡1925の更なる活用



公的資金も投入されているが、あまり浸透していない



・豊岡在住の外国人の方に協力頂き、出身国のお菓子教室を開催、 市民の方に教えていただく。



・お菓子を通じた豊岡市民と豊岡在住の外国人との交流スペースとして活用。





豊岡1925を国際アートセンターのお菓子版に

世界中の店を始めたい、新商品を出したいと考えているパティシエに試作と品評会ができる場とする。

- ・宿泊施設がある
- ・厨房がある
- 品評会ができるホールがある

品評会には豊岡市民に参加していただくことで、交流も図れる



実現したらどうなる?

世界中のお菓子が集まる場所となり、世界的なお菓子の聖地となる!



その結果どうなる?

世界中から出店希望者が集まり、空き店舗が解消。

それと共に豊岡に移住することで定住人口の増加にも繋がる。

お菓子の聖地として観光客が来ることで交流人口も増える。

お菓子を通じた国際交流が増え、相互の理解が深まることで国際都市として外国人を受け入れやすい環境ができる。



その結果どうなる?

まちづくりに豊岡在住の外国人の方が関わるようになり、

多文化が共生したまち豊岡の実現!!



携わったメンバー紹介

アナスタシア 糸乗 和真

尾嶋 伸介 河見 竜摩

近藤 厚子 坂本 高洋

ジェームス・ボリンジャー

高井 雅信 滝浪 珠沙

チェ・ジヘ 橋本 拓海

三輪 楓 髙岡 正博

上坂 侑加

北村 レニー

坂本 裕

田岡 聖司

谷垣 安依羅

籏谷 亮太



ご清聴ありがとうございました